

# かぎ針付タティングシャトルで作る 糸ボタンとリボンのバレッタ



技法考案・デザイン／工房ハーモニー  
 <出来上がりサイズ>約2cm×8.5cm

## <使用道具>

57-711 かぎ針付タティングシャトル  
 <No.12 (0.60mm)>  
<https://clover.co.jp/products/57711>



36-666 カットワークはさみ115(11.5cm)  
 57-007 フランス刺しゅう針No.7  
 18-018 めい針「絆」普通地用 短針8(三ノ三)  
 58-431 クロバーボンド<多用途・速乾>

## <材料>

手芸用リング(透明リング) 直径21mm 2個  
 直径15mm 1個  
 25番刺しゅう糸 ※色はお好みでご用意ください。  
 21mmの糸ボタン用 約2.1m(3本取り) 2セット  
 15mmの糸ボタン用 約1.5m(3本取り) 1セット  
 サテンリボン(13mm幅) 13cm、18cm 各1本  
 バレッタ(10×75mm) 1個  
 手縫い糸

## <作り方>

「糸ボタン基本の作り方」の動画も参考にしてください。

<https://clover.co.jp/movie/tattingbutton>



- ①別紙の「かぎ針付タティングシャトルで作る糸ボタン<基本の作り方>」の通りに、21mmの糸ボタンを2個、15mmの糸ボタンを1個作ります。  
 糸は25番刺しゅう糸を3本取りで使います。見本作品は、段染めの糸や、異なる色を引き揃えて使っています。  
 糸端を約15cm残して作り始め、最後の結び目が最初の結び目の反対側に来るようにして、糸端を約15cm残してカットします。

ピンク2本、緑色1本の3本取り



青～茶系段染め糸  
 3本取り

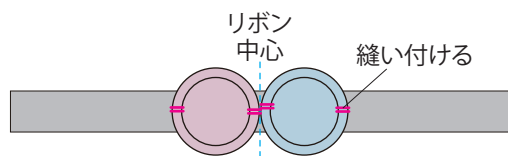


黄色系段染め糸 3本取り



最後はこのように左右から糸端が出ている状態にする

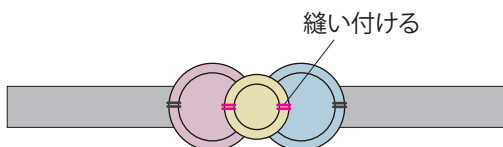
- ②13cmのリボンに、21mmの糸ボタン2個を縫い付けます。  
糸ボタンの糸端をフランス刺しゅう針No.7に通して縫います。  
縫えたらリボンの裏側で玉どめします。



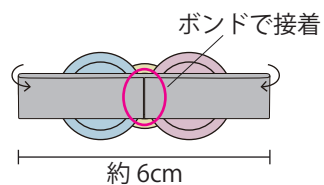
糸ボタンの縁の太い部分に糸が渡るように縫い付ける

糸を引くと縫い付けた糸が目立たなくなる

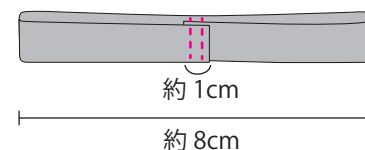
- ③15mmの糸ボタンを②と同様に縫い付けます。



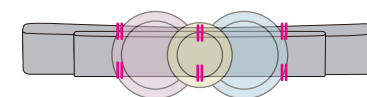
- ④③を裏返してリボンの端を中心に合わせ、ボンドで接着します。



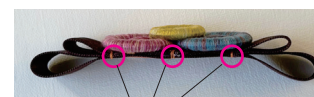
- ⑤18cmのリボンを輪にして、中央を縫います（ボンドで貼っても大丈夫です）。



- ⑥⑤の上に④を重ねて、リボン同士を縫い合わせます。  
糸ボタンの下の目立たない所を縫います。



横から見たところ



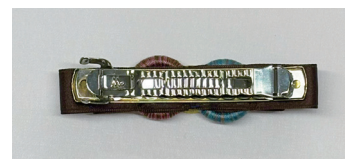
縫いとめる

裏側



※画像では分かりやすいように目立つ色の糸で縫っていますが、実際にはリボンの色に近い色の糸をご使用ください

- ⑦バレッタパーツに⑥をボンドで貼って完成です。



裏側



表側

**クローバー株式会社**

かぎ針付タティングシャトルで作る 糸ボタンとリボンのバレッタ 2-2